



平成30年 成人式  
二十歳の門出

1月7日(日)、エニスホールにおいて野木町成人式が開催されました。当日は新成人172人が、夢や希望を胸に新たな門出を迎え、成人としての大きな一歩を踏み出しました。会場のあちこちで、旧友や恩師の方との再会を喜び、思い出話に花が咲く姿や、笑顔で記念撮影する姿が見られました。

新成人代表あいさつ

「二十歳の誓い」

新成人代表 長谷部 斗哉



本日は、成人の日を迎えるにあたり、私たちの新たな門出をこのような盛大な式で祝福していただき誠にありがとうございます。新成人を代表いたしましたとして、誓いの言葉を述べさせていただきます。

さて、私たちは今年度をもって20歳を迎え、成人として扱われるようになります。私たちの中には職業に従事している者や、学業に励んでいる者などもあり、一人ひとり生きる道は様々です。それぞれ違った立場に置かれていますが、まず一度自分を見つめ直し、今日から新成人として何を考え、どのように生きるべきなのか、成人するとはどういうことなのか、自分に問いかけてみてくださいますか。今この新しい成人の皆さんは、中学、高校時代にどのような日々を過ごしていたでしょうか。振り返ると、私は中学時代の立志式を思い起こし





成人式実行委員の皆さん

す。自分の夢をステージの上で大声で叫び、仲間と一緒に歌を歌い、親からの手紙に涙を流し、大人への一步を踏み出そうとしていた自分を今でも覚えています。

ここに在る皆さんも人それぞれかとは思いますが、中学、高校時代に自分の将来に対して不安を抱いたり、壁にぶつかってたくさん悩んだりした時期があると思います。しかし、その試練があつたからこそ、私たちはここまで強くなることができたのだと思います。たとえ、過去の自分が思い描いた人になれていなくても、私たちが20年間生きてきたことは、必ず人生の糧になります。これから先、どんな試練が訪れようとも、私たちが20年間の経験から得た力を信じ、前進していけば必ず乗り越えていけると確信しています。

の心だと思えます。今の私たちがいるのは、今日まで支え、背中を押してくださった周りの大人の方々のおかげです。私も、今でも多くの方々に支えられていることを実感しています。今まで関わってきた人、この先関わる人にも感謝の心を持ち、普段、心の中で思っている口に出さない「ありがとう」の言葉を大人になつた今、しっかりと伝えましょう。そしてこれから支えられるだけでなく、支えていく者として決意を新たにし、助けを求め、いきましよう。

最後にになりましたが、本日、成人式を開くにあたり準備、支援をしていただいた町役場の皆様、お集まりいただいたご来賓の皆様へ、この場をお借りして深く感謝申し上げます。私たちが、これから大人としての責任をかみしめながら、感謝の心を持ち続け、大人として堂々と生きていくことをここに誓い、新成人代表の言葉とさせていただきます。

